

# 令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 生駒市社会福祉協議会

## 目 次

1	社会福祉協議会運営の基盤整備	・・・	1
2	地域福祉活動の推進	・・・	3
3	権利擁護活動の推進	・・・	10
4	ボランティア活動の推進	・・・	13
5	生活福祉資金等を活用した自立支援	・・・	14
6	災害時に向けた取組み	・・・	15
7	生活困窮者自立相談支援事業	・・・	15
8	生駒市福祉センターの円滑な管理・運営	・・・	18
9	地域包括支援センターの運営と介護予防の推進	・・・	23
10	デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営	・・・	26
11	交通遺児（高校生）奨学金の支給	・・・	29

# 事業報告

令和元年度、社会福祉法人生駒市社会福祉協議会は、財務活動等における法令遵守を徹底するとともに、情報開示を積極的に推進することによって、透明性の高い法人運営に努めました。

また、事業執行においては、生駒市くらしとしごと支援センターにおいて生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）に基づく生活困窮者自立相談支援事業を実施するとともに、生駒市権利擁護支援センターでは、専門相談員が相談者に寄り添いながら、個々の相談者に沿った問題解決に向けての支援を行いました。

介護保険等事業においては、生駒市デイサービスセンター幸楽を拠点に、訪問介護、通所介護、居宅介護支援及び障がい福祉サービス事業を運営いたしました。それらに加えて地域支援事業の一環として、生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービス提供体制の充実や強化、高齢者の社会参加を一体的に推進するための担い手やサービスの開発に取り組みました。

また、指定管理者として生駒市福祉センターの管理及び運営、意思疎通支援事業、社会参加支援事業等に取り組み、市民サービスの向上と地域福祉の推進に努めました。

当社会福祉協議会の事業運営に当たりましては、地域の皆様や団体の温かいご理解により、多大なご支援ご協力をいただきましたことを感謝申し上げますとともに、ここに事業概要及び執行状況を報告いたします。

## 1 社会福祉協議会運営の基盤整備

### (1) 組織体制・財政基盤の強化

#### ア 理事会・評議員会の運営

当協議会を円滑に運営するため、次のとおり開催した。

会議名	開催日	場 所	主 な 内 容
決算監査	5月16日	コミュニティセンター	・平成30年度社会福祉法人生駒市社会福祉協議会事業報告及び計算書類の監査
理事会	5月24日	コミュニティセンター	・平成30年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・令和元年度生駒市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
評議員会	6月19日	コミュニティセンター	・平成30年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・生駒市社会福祉協議会の理事及び監事の選任について
理事会	6月19日	コミュニティセンター	・生駒市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について

理事会	9月24日	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について</li> <li>令和元年度生駒市社会福祉協議会第2回評議員会の招集事項について</li> </ul>
評議員会	10月2日	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について</li> </ul>
理事会	3月19日	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2回)について</li> <li>令和2年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について</li> <li>令和元年度生駒市社会福祉協議会第3回評議員会の招集について</li> </ul>
評議員会	3月26日	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>生駒市社会福祉協議会の理事・監事の補充選任について</li> <li>令和元年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2回)について</li> <li>令和2年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について</li> </ul>

## イ 共同募金事業への協力

### (ア) 共同募金委員会の運営

市民に分かりやすく透明性があり、参加しやすい募金運動を展開するため共同募金委員会を開催した。

開催回数 2回

### (イ) 共同募金運動の推進

10月から赤い羽根共同募金運動を行い、自治会、市内小・中学校、生駒商工会議所を始め、市民の皆様のご理解ご協力により多額の募金をいただいた。

また、10月1日に、民生・児童委員連合会、ボランティア団体等の多数の協力を得て、市内の各駅前等で街頭募金活動を実施した。

(単位:円)

募金方法	令和1年度	平成30年度
戸別募金	5,929,798	5,889,852
街頭募金	195,482	501,483
職域募金	351,356	385,393
法人(企業)募金	718,500	555,500
学校募金	213,006	246,285
その他	293,174	
合計	7,701,316	7,578,513

## (ウ) 歳末たすけあい運動の実施

民生・児童委員連合会、自治会、共同募金委員会、当協議会等が一体となって「歳末たすけあい募金運動」を行い、市民の皆様の温かい善意と関係者の熱心な協力によって多額の募金をいただいた。この募金は、年末に支援を必要とする人たちへの援助や事業等、地域の福祉活動に活用した。

(単位:円)

区 分	令和1年度	平成30年度
募金実績額	4,083,211	4,193,035

配分内訳

(単位:円)

対 象	金 額
市内児童養護施設 (お年玉・入学祝い)	509,000
福祉団体 (見舞金)	460,000
地区民生・児童委員協議会への助成 (高齢者の集い・歳末プレゼント)	1,907,500
子育て支援事業助成	220,492
ひとり親家庭一日レクリエーション	226,758
福祉団体へ事業助成	788,420
生活困窮者緊急支援事業	12,017
緊急時安心カード	68,848
合 計	4,193,035

## (2) 福祉情報の提供及び広報活動の強化

### ア 広報「社協だより・いこま」の発行

「社協だより・いこま」を発行して市内全戸に配布し、当協議会の事業の報告や情報提供に努めた。

- ・第108号(平成31年 4月 1日)
- ・第109号(令和 1年 7月 1日)
- ・第110号(令和 1年10月 1日)
- ・第111号(令和 2年 1月15日)

### イ ホームページの充実

ホームページにより、当協議会に関する情報を、迅速に分かりやすく提供した。

## 2 地域福祉活動の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域社会の実現のため、市民の参加を得

て、様々な福祉ニーズの相談に応じるとともに、きめ細かな福祉サービスを組織的かつ総合的に推進した。

## (1) 福祉総合相談体制の充実

### ア 心配ごと相談の運営

民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、毎週木曜日（祝日を除く。）に各種の相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	令和1年度		平成30年度	
	件数	うち 他機関紹介	件数	うち 他機関紹介
生 計	0	0	8	5
家族関係	2	2	4	3
健康・医療	2	2	3	1
財 産	1	1	0	0
教育・青少年問題	0	0	0	0
障がい者福祉	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	1	1
児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	0	0	0	0
近隣問題	1	1	0	0
その他	1	1	3	0
合 計	7	7	19	10

### イ 総合相談窓口の設置

相談を通じて市民のニーズを把握するとともに、当協議会の諸資源の積極的活用と専門的な相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	令和1年度		平成30年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生計	2	0	4	1
家族関係	0	0	3	3
健康・医療	1	1	5	3
財産	0	0	1	1
教育・青少年問題	0	0	2	1
障がい者福祉	8	1	14	6

高齢者福祉	44	15	38	12
児童福祉	1	1	2	1
人権・法律	0	0	20	2
近隣問題	2	2	8	4
その他	46	10	60	9
合 計	104	30	157	43

## (2) ふれあい・いきいきサロン推進事業

サロン活動への支援・情報提供

現在開設中の各サロンに助成等に関する情報の提供を行うとともに、サロン活動の啓発の一環として「社協だよりいこま」に活動紹介の記事を掲載した。

社協だよりいこま掲載

- No.108号 鹿ノ台生き生きサロン
- No.109号 のんきサロン
- No.110号 むつみサロン（松美台）
- No.111号 芝なかよしサロン

## (3) 高齢者支援事業

ア 友愛電話訪問事業

(ア) 友愛電話訪問

ひとり暮らし高齢者の孤独感を解消することを目的に、訪問ボランティアの協力により、月曜日から金曜日（祝日を除く。）に電話による訪問を実施した。

区 分	令和1年度	平成30年度
対 象 者	26人 (男性6人・女性20人)	33人 (男性6人・女性27人)
実施日数	240日	243日
訪問回数	953回	975回
ボランティア	14人	16人

(イ) 友愛電話訪問交流会

友愛電話の利用者と訪問ボランティアが親睦を深めるため、交流会を開催した。

実 施 日                    11月21日  
場      所                    コミュニティセンター  
参 加 者                    友愛電話利用者10人      訪問スタッフ    8人

#### (ウ) 友愛電話訪問ボランティア研修会

友愛電話の訪問ボランティアを対象に研修会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止した。

#### イ 介護家族支援事業（家族のための介護サロン）

介護の方法や介護されている方の健康づくりなどについて、専門家から学ぶ教室を、デイサービスセンター幸楽で開催した。

回	開催日	人数(人)	内 容	講 師
1	8月31日	14	介護の負担を軽減 自宅で出来る元気になる運動	友誼会総合病院 技師長 徳久 謙太郎氏
2	9月28日	13	簡単にできる 飲み込みやすいおいしい食事	やすらぎの杜 延寿 管理栄養士 半田 恵美氏
3	10月19日	6	介護者のストレス軽減 ～アロマで癒しを～	日本エンジェルケア協会 理事長 浦野 典子氏
4	11月2日	12	気持ちのいい排泄のため 考えてみよう・体験してみよう	(株)はいせつ総合研究所 代表 浜田 きよ子氏
5	11月30日	8	認知症の方との寄り添い方 (オレンジリングの配布あり)	若年性認知症サポートセンター絆 菅 昌生氏
合 計		53		

#### ウ 緊急時あんしんカードの配布

ひとり暮らし高齢者が緊急時に、速やかに連絡等ができるよう、各自の情報(氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、かかりつけの病院等)を書き込んで、身近な所に常備できるカードを作成し、民生委員・児童委員を通じて配布した。

#### エ 認知症高齢者等見守り事業（認知症支え隊）

在宅の認知症高齢者等に対し、ボランティア（隊員）が電話連絡や同行などの外出支援等を行い、本人の社会参加や活動を継続することにより、認知能力・身体能力の低下を防止し、在宅生活及び活動を継続した。また、事業をとおして利用者が通う外出先のボランティア等地域住民の認知症への理解を促進した。

区 分	令和1年度	平成30年度
隊員数	40名	17名
活動隊員(実人数)	13名	6名
支援件数	147件	55件

#### (4) 障がい者支援事業

障害者週間（12月3日～9日）キャンペーン事業



(ア) 「障害者週間」街頭キャンペーン

障がいのある人とない人が共に支え合い、尊重し合う共生社会を推進するため、障がい者団体、市内小・中学校及び関係団体の協力を得て、生駒駅等において啓発活動を実施した。

実施日	12月3日
場所	生駒駅、東生駒駅、南生駒駅、学研北生駒駅、白庭台駅、近鉄百貨店生駒店、イオンモール奈良登美ヶ丘店、いそかわ新生駒店及びKOHYO東生駒店
協力者	障がい者団体、生駒小学校、生駒南小学校、真弓小学校、生駒南中学校及び民生・児童委員連合会

(イ) 「障害者週間」ポスター展

障がいについての理解と関心を高めることを目的に、市内小・中学生から募集した作品を展示した。

実施期間	11月22日～11月28日
場所	生駒市役所
実施期間	11月30日～12月8日
場所	生駒市福祉センター
参加校	生駒小学校、俵口小学校、真弓小学校、大瀬中学校及び生駒台小学校
作品数	13点

(ウ) 「障害者週間」講演会

障がい及び障がい者に対する理解を深めるとともに、障がい者の社会参加を促進するためのイベントを開催した。

実施日	12月7日
場所	生駒市福祉センター
ゲスト	奈良ろう者劇団 大仏も笑う会
内容	手話喜劇 ～最後の夏まつり～
参加者	一般・各団体等

(5) 福祉教育事業

ア 福祉出前講座

福祉についての学習の機会を提供し、福祉活動及びボランティア活動への発展と障がい者等への理解を深めるため、地域に出向いて福祉出前講座を開催した。

開催日	場所	対象者	人数(人)	内容
4月17日	谷田自治会館	谷田ふれあいカフェ	20	手話講座

6月13日	なばた幼稚園	年中・年長組	45	手話体験
6月26日	鹿ノ台佐保保育園	3～5歳児	35	手話体験
6月27日	南喜里が丘自治会館	市民	18	アイマスク体験
7月2日	壺分小学校	5年生	115	車いす体験
7月7日	西地区自治連合会	市民	58	車いす体験
8月22日	南喜里が丘自治会館	市民	18	手話体験
9月6日	ひがし保育園	3～5歳	130	手話体験
9月12日	真弓小学校	4年生	122	車いす体験
9月13日	生駒小学校	4年生	98	点字体験
9月27日	真弓小学校	4年生	122	点字体験
10月3日	俵口小学校	4年生	70	点字体験
10月10日	生駒北小学校	4年生	27	点字体験
10月11日	ソフィア東生駒こども園	5歳	27	手話体験
10月24日 25日	あすか野小学校	4年生	176	車いす体験
10月29日	俵口小学校	4年生	70	車いす体験
10月31日	あすか野小学校	4年生	176	点字体験
10月31日	俵口小学校	4年生	70	手話体験
11月5日	生駒小学校	4年生	98	車いす体験
11月7日	桜ヶ丘小学校	4年生	104	アイマスク体験
11月7日 8日	あすか野小学校	4年生	176	手話体験
11月8日	緑ヶ丘中学校	2年生	160	福祉講演
11月11日	鹿ノ台佐保保育園	3～5歳	36	手話体験
11月15日	緑ヶ丘中学校	2年生	160	障害者理解(聴覚・視覚)
11月18日	中保育園	3～5歳	128	手話体験
11月20日	生駒台小学校	4年生	129	手話体験
11月21日	上中学校	2年生	210	アイマスク体験
11月22日	生駒南中学校	2年生	62	アイマスク体験
11月22日	生駒東小学校	4年生	90	手話体験
11月27日	あすかの保育園	4・5歳	41	手話体験
11月28日	生駒南小学校	3年生	70	アイマスク体験
11月29日	壺分小学校	5年生	116	福祉教育
11月29日	鹿ノ台小学校	4年生	102	手話体験
11月29日	生駒台幼稚園	5歳	62	車いす体験
12月6日	生駒台小学校	4年生	129	車いす体験
12月10日	鹿ノ台小学校	4年生	102	車いす・アイマスク体験
12月17日	生駒南小学校	5年生	70	車いす体験
1月15日	生駒幼稚園	年中組	42	手話体験
1月16日	生駒東小学校	4年生	91	車いす体験
1月22日	東生駒病院1階交流スペース	市民	20	手話講座
1月23日	壺分幼稚園	年長組	39	手話体験
1月23日	桜ヶ丘小学校	5年生	118	車いす体験
1月30日	生駒小学校	4年生	98	手話体験
合 計		43回	3,850	

## イ 社会福祉教育実習及び介護等体験実習生の受入れ

社会福祉教育の一環として、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和 62 年法律第 30 号）に規定する社会福祉士等の資格取得に必要なソーシャルワーク実習等の学生を受け入れた。

・ソーシャルワーク実習	3 人
・介護等体験実習	7 人

## (6) ひとり親家庭交流事業

「ひとり親家庭一日レクリエーション」

親子のふれあいとひとり親家庭相互の交流を図り、社会参加を促すことを目的に開催した。

実施日	10月26日
場所	びわ湖バレイ
参加者	34人

## (7) ふれあい援助事業

出産、けが等の一時的な事情により、家事や介護等の日常生活に支障がある家庭に対しホームヘルパーを派遣した。

区分	令和1年度	平成30年度
派遣件数	32件	65件
派遣時間	92時間 00分	149時間 00分

## (8) 車いす貸出し

高齢者、身体障がい者等の外出援助のため、無料で車いすの貸出しを行った。

区分	令和1年度	平成30年度
車いす	119台 (福祉センター 65台)	138台 (福祉センター 67台)

## (9) 善意銀行の運営

市民の皆様から善意の預託を受け、預託者の意思に従ってその指定先に払い出した。

預託		払出		払出先
件数	金額	件数	金額	
13件	10,641,553円	1件	100,000円	愛染寮

## (10) 当事者組織の支援

身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会等の当事者の会と連携の強化及び連絡調整を図るとともに、福祉活動の強化に努めた。

## (11) 社会福祉関係団体との連携強化

民生・児童委員連合会、老人クラブ連合会、保護司会、更生保護女性会をはじめ、身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児・者父母の会、聴覚障害者協会、難聴者福祉協会、遺族会、介護者（家族）の会等と連携体制の強化及び連絡調整を図り、福祉活動の強化に努めた。

### ア 生駒市民生・児童委員連合会事務局の運営

民生・児童委員連合会の事務局として、適切な運営を行った。

### イ 生駒市老人クラブ連合会事務局の運営

老人クラブ連合会の事務局として、適切な運営を行った。

### ウ 生駒市居宅介護支援事業者協会事務局の運営

居宅介護支援事業者協会の事務局として、適切な運営を行った。

### エ 生駒市保護司会事務局の運営

保護司会の事務局として、適切な運営を行った。

### オ 生駒市地区更生保護女性会事務局の運営

更生保護女性会事務局として、適切な運営を行った。

## (12) 生活支援コーディネーターの配置

生活支援・介護予防サービス提供体制の充実や強化、高齢者の社会参加を一体的に推進するため、関係者のネットワークや既存の取組み等と連携し、担い手の育成やサービスの開発を行った。

## (13) 苦情等受付状況

苦情受付件数            0件

## 3 権利擁護活動の推進

### (1) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

判断能力の十分でない高齢者や障がい者の生活に関わる相談に応ずるとともに、

福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行う福祉サービス利用援助事業を推進した。

(単位:件)

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
新規相談件数	21	33
成年後見制度 利用支援件数	3	0

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
利用者数	40 人 (内新規利用者 6 人)	48 人 (内新規利用者 14 人)
相談援助件数	131 件	210 件
生活支援員 活動件数	589 件	629 件
生活支援員 活動時間	516 時間 00 分	537 時間 00 分

## (2) 権利擁護支援システムの構築

判断能力が十分でない人が成年後見制度等の社会資源を活用しながら、住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域社会の実現を目指し、関係機関、団体、専門職等の関係者が地域のネットワークにより支援していくために総合的な窓口を開設し、各種事業を実施した。

### ア 権利擁護支援センターの運営

知的障がい、精神障がい、認知症等により判断能力が十分でない者の権利の侵害への対応及び権利の行使に社会的な支援が必要な障がい者及び高齢者に対し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的に権利擁護に関する相談から支援までを総合的に行った。

### イ 生駒市権利擁護支援センター相談実績

専門相談員（社会福祉士）を配置し、必要な相談支援を行った。

(単位:件)

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
電話相談(メール、 ファクス含む)	165	432
面談	25	39
訪問	43	92
合 計	233	563

## ウ 法人後見事業の実施

適切な成年後見人等がない場合に生駒市社会福祉協議会が成年後見人等に就任し必要な支援を行った。

受任件数 1 件（補助類型）

## エ 専門相談窓口の設置

### （ア） 成年後見制度無料相談会

リーガルサポート奈良支部会員の司法書士と権利擁護支援センターの職員（社会福祉士）による成年後見制度に関する相談会（毎月第3木曜日、予約制）を行った。

（単位：件）

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
相談件数	14	8

### （イ） 高齢者及び障がい者のための無料法律相談

弁護士による、高齢者及び障がい者のための無料法律相談（毎月第2・4木曜日、予約制）を行った。

（単位：件）

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
相談件数	21	19

### （ウ） 福祉関係機関向け専門相談

権利擁護支援センターの職員が相談を受け、弁護士への相談を行った。

（単位：件）

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
相談件数	6	12

## オ 実務者連絡会の開催

実施日 9月3日  
場 所 生駒市福祉センター  
内 容 講座 「日常生活自立支援事業の概要」  
講 師 奈良県社会福祉協議会 専門員 山上 伸子 氏  
参加者 17人

### （3） 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

## 4 ボランティア活動の推進

### (1) ボランティア活動保険等の受付

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
ボランティア活動保険	3,352 人	3,531 人
ボランティア行事保険	117 件	105 件
保険請求件数	5 件	9 件

### (2) ボランティア活動普及事業助成

小学校及び中学校の児童や生徒を対象に、社会福祉に対する理解と関心を深めることを目的として、学校に対して助成を行った。

助成校 生駒小学校、生駒南小学校、生駒北小学校、あすか野小学校、壱分小学校、生駒南第二小学校、生駒中学校、鹿ノ台中学校、生駒高等学校及び奈良北高等学校

### (3) 福祉ボランティアグループ助成

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進を目的として、福祉ボランティアグループに対して助成を行った。

助成グループ サロン楽我生、幸楽ボランティア、手話サークルかしの木、夢の会、手話サークルハーブ、音訳グループ生駒やまびこ、笑みの会、車椅子ダンス フレンズピア、要約筆記いこま、福祉団体生駒希望の会、グループくさぶえ及び生駒市健康づくり推進員連絡協議会

### (4) 生駒市内のボランティア団体との連携

#### ア 生駒市社会福祉協議会ボランティアネットワークへの情報提供

ボランティアグループにボランティア活動に必要な活動資金となる民間の助成金等の情報を4月から配信した。

情報配信回数（4月～3月） 19回

#### イ 登録ボランティア交流会の開催

実施日 7月10日  
場 所 コミュニティセンター  
内 容 浦野典子先生のアロマオイルマッサージ体験  
参 加 9グループ

実施日 10月24日  
 場所 コミュニティセンター  
 内容 ボランティアネットワーク活動報告  
 参加 8グループ

実施日 1月27日  
 場所 ららぽーと2階  
 内容 次回研修会・交流会の打合せ  
 参加 10グループ

### (5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 5 生活福祉資金等を活用した自立支援

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、奈良県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業を活用した資金の貸付けと必要な援助指導等により、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加を促進した。

### (1) 低所得者世帯等への支援活動

#### ア 生活福祉資金の貸付相談

民生委員・児童委員の協力を得て、低所得者、高齢者及び障がい者の世帯に生活福祉資金の貸付けを行い、経済的な自立と生活意欲の促進に努めた。

(単位:件)

区分	令和1年度	平成30年度
相談件数	104	99

#### イ 貸付申請件数

区分	令和1年度		平成30年度	
	件数(件)	貸付決定額(円)	件数(件)	貸付決定額(円)
福祉資金				
・福祉費	0	0	5	2,548,000
・緊急小口資金	2	200,000	17	1,071,000
教育支援資金				
・教育支援費	6	5,931,000	5	5,383,000
・就学支度費	7	1,334,000	4	1,086,000
総合支援資金				
・生活支援費	1	300,000	0	0



臨時特例つなぎ資金				
	0	0	2	130,000
不動産担保型生活資金				
・要保護世帯向け	0	0	1	6,054,300
合 計	16	7,765,000	34	16,272,300

## (2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 6 災害時に向けた取組み

### (1) 災害支援に関する学習・啓発活動

災害時における連携・協働のあり方などについて考えることを目的に災害ボランティア養成講座を開催した。

実施日	8月24日
場所	コミュニティセンター
内容	災害ボランティア活動を知ろう
講師	奈良県社会福祉協議会 災害ボランティア受援コーディネーター 川口 均 氏
参加者	17名
実施日	9月7日
場所	コミュニティセンター
内容	あなたもできる！災害ボランティア
講師	奈良県社会福祉協議会 主幹 石川 美也子 氏
参加者	20名

### (3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 7 生活困窮者自立相談支援事業

経済的な問題のみならず、複合的な問題を抱えている生活困窮者に対して、生駒市くらしとごと支援センターにおいて個別に対応し、自立に向けて支援する生活困窮者自立相談支援事業を推進した。

### (1) 生駒市くらしとごと支援センターの運営

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、各生活困窮者に応じた

包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援体制を構築するために相談員を配置し総合的な支援を行った。

(単位:件)

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
新規相談件数	131	137
プラン作成件数	62	65

(単位:件)

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
電話相談	535	618
訪問同行支援	138	166
面談支援	432	485
合 計	1,105	1,269

#### ア 支援調整会議

生活困窮者の複合的な課題を整理し、課題解決のための支援プランについて関係機関と合同でケースの検討及び支援の決定を行った。

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
開催数	13 回	14 回
検討ケース	29 件	8 件
プラン確認	62 件	65 件
評価	63 件	63 件

#### イ 就労支援実績

生活困窮者に対する就労支援を行った。

(単位:件)

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
就労支援対象者数	25	34
一般就労開始件数	22	13
就労収入増加件数	3	5

#### ウ サロンの開催

生活困窮者の居場所作りと、自己理解を深めるプログラムを実施し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数	計 10 回
場 所	コミュニティセンター
内 容	個人で取組みが出来るナノブロック等を使ったワークや、コミュニケーションを取りながら課題を完成させるワークなどを取り入れ、個人の特性等の理解を深め、他者との関係性の構築のためのきっかけ作りとした。
講 師	Co-en 浜口 桂氏
参 加 者	36 人（延べ）

## （２）住居確保給付金

離職により生活に困って、住居を失った人、又は住居を失う恐れの高い人に安定した就職活動ができるよう、期限付きで家賃相当額を支給する制度を推進した。

（単位：件）

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
相談件数	2	8
申請件数	0	1

## （３）被保護者就労支援事業

生活保護被保護者に対する就労支援として、生活保護被保護者就労支援促進事業を活用し、ハローワークと連携しながら就労支援を行った。

（単位：件）

区 分	令和 1 年度	令和 30 年度
支援対象者件数	26	21
就労開始件数	9	8
就労増収件数	0	0

## （４）家計相談支援事業

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者ととともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や、専門的な助言・指導等を行った。

### ア 家計相談支援事業相談件数

生活困窮者からの相談に応じ、家計の問題を明らかにして生活の再生に向けたプランを作成し、家計を管理する力を高め、早期に家計が再生するための支援を行なった。

（単位：件）

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
相談支援件数	18	21

## イ 無料家計相談会

奈良県司法書士会の司法書士と社協職員による家計再建等に関する相談会（毎月第2水曜日、予約制）を行った。

（単位：件）

区 分	令和1年度	平成30年度
相談件数	5	12

## ウ 行事の開催

実施日	1月27日
場 所	たけまるほーる調理室
内 容	節約レシピ食堂～餃子の皮で簡単ピザ、炊きたてご飯の美味しいおにぎり～
講 師	食推協議会
参加者	3名

## （5）就労準備支援事業

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなど、複合的な課題があり既存の雇用施策の枠組みでは支援になじまない方に、一般就労に従事する準備としての基礎能力形成を計画的かつ一貫して支援を行った。

区 分	令和1年度	平成30年度
支援対象者件数	5	5
支援プログラムの実施	13	27
職場見学	0	1

## （5）苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 8 生駒市福祉センターの円滑な管理・運営

### （1）生駒市福祉センターの指定管理事業

障がい者や高齢者と健常者のふれあい・心の通い合う交流の場として、また、ボランティアの活動拠点として、円滑な管理運営に努めた。

また、各種教室、スポーツレクリエーション等を通して、障がい者の自立、生活意欲の向上及び生きがいをづくりに努めた。

(単位:人)

利用区分	令和1年度	平成30年度
福祉団体	3,340	3,691
ボランティア団体	6,694	6,997
各種教室	5,071	5,123
市関係	784	1,298
手話関係	99	73
行 事	1,697	2,196
ヘルストロン	-	7,544
合 計	17,685	26,922

## ア 各種教室

在宅障がい者や高齢者（60歳以上）の自立及び生きがい作りや交流活動の場として、各種教室を開講した。

教室名	令和1年度		平成30年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
やきもの教室A	18	202	17	262
やきもの教室B	18	185	17	133
水彩画教室	17	247	18	243
さをり織り教室	18	116	17	146
料理教室	8	130	9	147
パンフラワー教室	18	289	18	281
中国気功教室	17	463	18	459
体操教室	18	210	17	192
カラオケ教室A	19	367	19	398
カラオケ教室B	19	363	19	375
編み物教室	19	259	19	266
絵てがみ教室	18	223	19	257
手作りパン教室	8	130	8	131
園芸教室	20	281	19	284
健康ヨガ教室	19	514	19	520
健康太極拳教室	8	213	-	-
フラダンス教室	17	386	18	418
合 計	279	4,578	271	4,512

短期教室名	令和1年度		平成30年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
ビーズ教室	6	81	6	98
パッチワーク教室	10	157	10	171
健康音楽教室	-	-	6	93
親子料理教室	1	18	1	21
お菓子教室	1	10	1	20
男性クッキング教室	3	35	3	39
アロマキャンドル教室	-	-	1	14
ストレッチ教室	8	192	6	155
合 計	29	493	34	611

#### イ 福祉センター祭

障がい者や高齢者（60歳以上）が各種教室で学んだ成果を展示し、及び発表する場として福祉センター祭を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止した。

#### ウ 各種行事

障がい者（児）とその家族、高齢者（60歳以上）を対象に、各種行事を実施した。

##### （ア） 秋の日帰りバスツアー

障がい者（児）とその家族等を対象にバスツアーを実施した。

実施日 9月15日  
場 所 和歌山マリーナシティ（和歌山県和歌山市）  
参加者 125人

##### （イ） レクリエーション・ゲーム会

障がい者（児）とその家族を対象にレクリエーションを実施した。

実施日 1月19日  
場 所 生駒市福祉センター  
参加者 47人

#### エ ボランティア講習会

登録ボランティアを対象に、障がい者及び高齢者への理解を深めるための講習を実施した。

実施日 10月30日

場 所	生駒市福祉センター
内 容	運動と栄養について
講 師	スマイルさくらリハビリ訪問看護ステーション 理学療法士 田中 秀憲 氏
参 加 者	19人
実 施 日	2月13日
場 所	生駒市福祉センター
内 容	講演会「視覚障がい者の暮らしについて」
講 師	木村 佳子 氏
参 加 者	31人

## オ 意思疎通支援事業

### (ア) 手話通訳者等設置事業

専任の手話通訳者を設置し、手話通訳者派遣のコーディネートを行うとともに、聴覚障がい者等の日常生活における様々な相談に応じた。

### (イ) 手話通訳者派遣事業

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者を派遣した。

区 分	令和1年度	平成30年度
派遣件数	249件	300件
派遣人数	295人	354人

### (ウ) 要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、要約筆記奉仕員を派遣した。

区 分	令和1年度	平成30年度
派遣件数	34件	38件
派遣人数	105人	102人

## カ 社会参加支援事業

### (ア) 点字・声の広報の発行

視覚障がい者の社会参加・自立の一助として、「点字広報いこま いこまち」及び「声の広報いこま いこまち」を発行した。

区 分	令和 1 年度		平成 30 年度	
	回数(回)	利用人数(人)	回数(回)	利用人数(人)
点字広報	14	42	21	63
声の広報	14	228	21	313

## (イ) 各種講座

聴覚障がい者や視覚障がい者の社会参加におけるコミュニケーションを助ける技術を学ぶ講座を開催した。

講 座 名	令和1年度		平成30年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
手話奉仕員養成講座	44	665	44	795
聞こえのサポーター講座	7	30	7	38
点訳講習会	10	31	10	71
音訳講習会	6	55	6	60
合 計	67	781	67	964

## (2) 自主事業

### ア 点字図書の貸出し

視覚障がい者等に情報を提供するため、芥川賞・直木賞受賞作品の点字図書を貸し出した。

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
利用件数	10 件	5 件
貸出数	28 冊	11 冊

### イ 聴覚障がい者サロン（ふく mimi サロン）の運営支援

市内の聴覚障がい者の社会参加と仲間づくりの輪を広げ、いきいきと安心して暮らせることを目的に開催し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数	計 4 回
場 所	生駒市福祉センター
内 容	手話ボランティアのサポートを得て、生駒ふるさとミュージアムの見学と勾玉づくり体験、パンケーキの調理実習などを行った。
参 加 者	4 5 人（延べ）

### ウ 手話奉仕員スキルアップ研修

聴覚障がい者の福祉の増進及び情報保障の充実を図るため、手話奉仕員の手話技



術と知識の向上、及び手話通訳者を目指す人を増やすことを目的に開催した。

講座名	令和1年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)
手話奉仕員スキルアップ研修	5	62

#### エ ボッチャ大会

パラリンピックの正式種目であるボッチャの大会を、障がい者や高齢者（60歳以上）を対象に開催した。

実施日 6月28日  
 場所 生駒市福祉センター  
 参加者 42人

実施日 10月29日  
 場所 生駒市福祉センター  
 参加者 48人

### (3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 9 地域包括支援センターの運営と介護予防の推進

高齢者の地域生活の支援のため、地域ネットワークづくりを推進するとともに、各種支援サービスを提供した。

### (1) 包括的支援事業

#### ア 地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送るために、介護サービスを始め様々なサービスを包括的に受けられるよう、関係機関との調整等、高齢者を支える総合機関としての運営を行った。

#### (ア) 介護予防ケアマネジメント事業

総合事業対象者、要支援認定者に対し介護予防サービス支援計画を作成した。

(単位:件)

総合事業	令和1年度	平成30年度
総合事業対象者	73	77
要支援1	107	112

要支援 2	214	210
合 計	394	399

(単位:件)

予防給付	令和 1 年度	平成 30 年度
要支援 1	107	119
要支援 2	229	278
合 計	336	397

(イ) 総合的な相談支援事業

介護保険等様々な制度や地域資源との連携による相談及び支援を実施した。

(単位:件)

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
相談件数	630	479

(ウ) 包括的かつ継続的ケアマネジメント事業

包括的かつ継続的なケアマネジメントが行えるよう、地域のケアマネジャーに対し支援を行った。

集団支援	令和 1 年度	平成 30 年度
実施回数	5	6 件
参加者	106	166 人

(単位:件)

個別支援	令和 1 年度	平成 30 年度
相談・支援件数	71	98

(エ) 地域支援体制整備

地域のネットワークづくりのため、関係機関と連携を図った。

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
連携件数	55 件	83 件
地域ケア会議	56 回	47 回

イ 介護予防事業

高齢者やその家族を対象に介護予防に関する知識及び技術の普及啓発を目的に、介

護予防教室を実施した。

(ア) 介護予防教室

開催日	開催場所	人数(人)	内 容
6月21日	西松ヶ丘集会所	23	ひまわりの集い(地域出前型)生駒市健康づくり推進員連絡協議会 「地域包括支援センターについて」「介護予防手帳について」社協地域包括
6月26日	デイサービスセンター幸楽	13	「振り込め詐欺にだまされないように」生駒市消費生活センター 「認知症サポーター養成講座」社協地域包括
9月30日	デイサービスセンター幸楽	21	ひまわりの集い(地域出前型)生駒市健康づくり推進員連絡協議会 「いきいき百歳体操」社協地域包括
合 計		57	

(イ) 生活機能評価未返送者実態把握事業

市が郵送した「基本チェックリスト」の未返送者の実態等を把握するため、調査を行った。

(単位:件)

区 分	令和1年度	平成30年度
訪問支援件数	37	15

ウ 認知症地域支援推進員の配置

(ア) 認知症の人及び家族の支援として相談業務を行った。

(単位:件)

区 分	令和1年度	平成30年度
相談件数	194	100

(イ) 認知症サポーター養成講座等を開催した。(介護予防教室開催を除く)

区 分	令和1年度	平成30年度
回数	4回	6回
人数	232人	299人

(2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 10 デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営

利用者の多様化、複雑化する高齢者の介護及び予防並びに障がい者の生活ニーズに対応するとともに、自立支援に向けたサービス提供に努めた。

### (1) 介護保険事業の運営

#### ア 要介護認定調査事業

市から介護保険認定調査事業を受託し、各地域において認定調査を行った。

(単位:件)

区 分	令和1年度	平成30年度
市 内	52	66
他 市	1	2

#### イ 居宅介護支援事業 (ケアプランの作成)

要介護認定者に対し、居宅サービス計画 (ケアプラン) を作成した。

(単位:件)

区 分	令和1年度	平成30年度
要介護1	362	414
要介護2	385	290
要介護3	192	195
要介護4	144	106
要介護5	53	78
合 計	1,136	1,083

#### ウ 訪問介護事業

要介護認定者に対し訪問介護員を派遣し、生活援助及び身体介護を行った。

区 分	令和1年度		平成30年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護1	103	647	154	1,168
要介護2	143	1,092	129	912
要介護3	29	209	82	544
要介護4	31	265	28	335
要介護5	20	279	14	140
合 計	326	2,492	407	3,099

エ 通所介護事業

要介護認定者を対象に、送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 1 年度		平成 30 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	207	1798	238	2,165
要介護 2	192	1495	155	1,089
要介護 3	116	1033	127	855
要介護 4	87	627	39	279
要介護 5	23	167	49	351
合 計	625	5120	608	4,739

オ 介護予防訪問介護相当サービス

総合事業対象者、要支援認定者に対し訪問介護員を派遣し、介護予防訪問介護を行った。

区 分	令和 1 年度		平成 30 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
総合事業対象者	22	96	12	52
要支援 1	70	338	92	440
要支援 2	159	862	198	1,019
合 計	251	1,296	302	1,511

カ 訪問型サービス A 事業

総合事業対象者、要支援認定者に対し生活支援員を派遣し、掃除や洗濯などの生活援助サービスを行った。

区 分	令和 1 年度		平成 30 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
総合事業対象者	49	198	64	262
要支援 1	50	207	62	254
要支援 2	59	216	68	256
合 計	158	621	194	772

キ 介護予防通所介護相当サービス

総合事業対象者、要支援認定者を対象に、送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 1 年度		平成 30 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
総合事業対象者	1	4	5	19
要支援 1	63	233	35	122
要支援 2	140	876	158	978
合 計	204	1,113	198	1,119

#### ク 通所型サービス A 事業

総合事業対象者、要支援認定者を対象に、送迎、マシンを使った運動プログラムを実施した。

区 分	令和 1 年度		平成 30 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
総合事業対象者	52	160	46	153
要支援 1	20	82	18	61
要支援 2	30	116	36	110
合 計	102	358	100	324

#### ケ 第 1 号通所型サービス C（パワーアップ P L U S 教室）

理学療法士や作業療法士、看護師、介護予防運動指導員等の専門職の指導による、マシンを使った運動や自宅で行う運動の個別指導を行い、短期間で元気な生活を取り戻すための教室を実施した。

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
エントリー数	292 件	294 件
教室開催回数	192 回	191 回

## (2) 障がい福祉サービス事業の実施

#### ア 居宅介護（ホームヘルプ）事業

ホームヘルパーを派遣し、介護、家事等生活全般にわたる援助を行った。

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
利用人数	49 人	59 人
回 数	487 回	475 回

#### イ 生活介護（デイサービス）事業

障がい者に送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 1 年度	平成 30 年度
利用人数	17 人	1 人
回 数	120 回	97 回

#### ウ 移動支援・同行援護・行動援護事業

障がい者が円滑に外出できるよう、移動支援、同行援護及び行動援護を行った。

移動支援	令和 1 年度	平成 30 年度
利用人数	0 人	0 人
回 数	0 回	0 回

同行援護	令和 1 年度	平成 30 年度
利用人数	39 人	39 人
回 数	245 回	215 回

行動援護	令和 1 年度	平成 30 年度
利用人数	5 人	7 人
回 数	5 回	11 回

### (3) 自主事業

#### ア はいせつ無料相談（ミニむつき庵いこま）

排泄に関する問題を抱えながら、適切な指導や助言を得られずにいる方、また問題の存在に気付かないまま過ごしている方に対し、面談や電話等での相談の対応を行った。

#### イ 要介護者及び家族交流事業（salon de kouraku）

普段介護を行っている家族、常時の介護を必要とはしないが社会的交流や役割などの獲得が必要な要支援者等に対して、毎月第3水曜日の10時から、情報交換やリフレッシュができる場を提供した。

### (4) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

## 1 1 交通遺児（高校生）奨学金の支給

交通災害により親等を失った高校生に交通遺児奨学金の支給を行う。

交通遺児奨学金支給者 0 人